

政務活動記録簿

会派名	さわやかな風の会
事業名	先進地視察
実施日	平成 29 年 8 月 9 日～平成 29 年 8 月 10 日
参加議員	依田俊良、山崎康一、中村眞一

1 東御市における課題と研修・調査の目的

<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨御嶽高原高地トレーニングについて ・糸魚川防災対策について

2 経費

使途項目	経費の内容と内訳		金額（円）
(該当項目に○) 調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費 会議費	電車賃		
	飛行機代		
	タクシー		
	レンタカー		
	ガソリン代		
	宿泊料	13,000×3人	39,000
	日当	2,200×2日×3人	13,200
	資料代		
	謝礼		
	参加負担金		
	バス代		37,125
	有料高速代		3,180
合計		92,505	

※ 裏面に本事業に要した領収書その他支出を証する書類を添付のこと

3 実施概要 (視察箇所ごとに記載)

(No. 1)

実施日時	平成 29 年 8 月 9 日
視察場所及び部局等	飛騨御嶽高原
視察事項	高地トレーニングエリア
報告内容	<p>(1) 視察先概要 飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアの拠点施設として、平成 20 年 3 月に廃校となった旧日和田小学校を利用し、低酸素室や乳酸測定器などの医科学トレーニング機器などや他の施設の視察</p> <p>(2) 視察事項について 標高 1,700m・1,300m の 17 km 離れた 2 箇所に、それぞれ全天候型の陸上競技場が完備されている。 世界陸上大会に出場するために、直前合宿に訪れたフランス陸連の関係者も、これだけの標高が高い箇所に異なる環境は、世界的にも例がないと絶賛されたそうです。</p> <p>(3) 所感・市政に活かせること ≪低酸素室≫</p> <p>東御市における高地トレーニング施設の充実に対し様々な面で参考となった。 多くの若者が利用し、特に関西方面の利用者が多い。</p>  

(視察先の写真等がある場合は添付)

3 実施概要 (視察箇所ごとに記載)

(No. 2)

実施日時	平成 29 年 8 月 10 日	
視察場所及び部局等	糸魚川市	
視察事項	防災について	
報告内容	<p>(1) 視察先概要 東御市においても、海野宿や田中商店街などの密集地域があり、糸魚川大火の教訓をお聞きした。</p> <p>(2) 視察事項について 消火活動にあたっては、出動車両等 235 台、活動人員 1,887 人であった。この他にも国土交省、自衛隊、警察、防災ヘリ、建設業等の民間事業者の車両など、多くの皆さんの協力で活動され、死者が出なかったことは奇跡であったと、担当者の話であった。</p> <p>(3) 所感・市政に活かせること 日頃の顔の見える、横の連絡体制の構築が大変役に立ったと思う。 地域住民の繋がりが機能して、自助・共助の取り組みが大切であり、東御市においても、顔の見えるまちづくりが大切である。</p>	



政務活動記録簿

会派名	さわやかな風の会
事業名	先進地視察
実施日	平成 29 年 11 月 13 日～平成 29 年 11 月 15 日
参加議員	依田俊良、長越修一、山崎康一、中村眞一

1 東御市における課題と研修・調査の目的

- ・函館地域交流センターについて
- ・千歳市防災学習センターについて
- ・小樽市ふれあい収集事業について

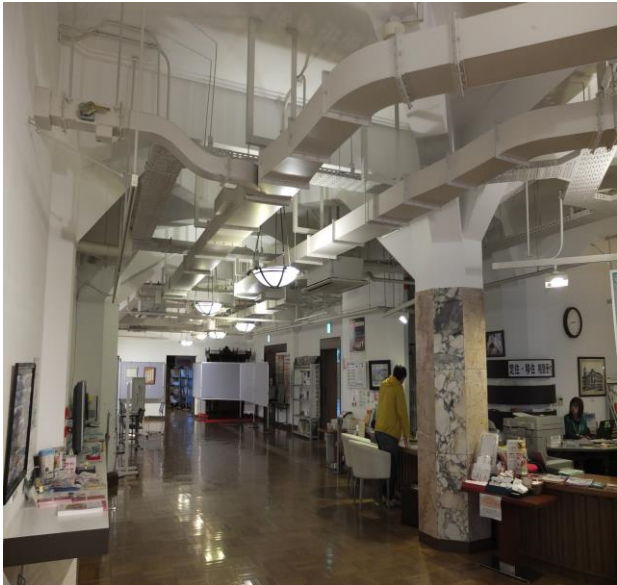
2 経費

使途項目	経費の内容と内訳	金額（円）	
(該当項目に○) 調査研究費 研 修 費 広 報 費 広 聴 費 要請・陳情活動費 会 議 費	電車賃	レンタカーパック込み 219,530	
	飛行機代	上記に含む	
	タクシー		
	レンタカー	保健代金のみ	1,944
	ガソリン代		4,573
	宿泊料	13,000 円×4 名×2 泊	104,000
	日 当	2,200 円×4 名×3 日	26,400
	資料代		
	謝 礼		
	参加負担金		
	駐車代		15,00
	高速代		10,130
	土産代		7,260
	施設料	まちづくりセンター	1,000
	合 計		376,337

※ 裏面に本事業に要した領収書その他支出を証する書類を添付のこと

3 実施概要 (視察箇所ごとに記載)

(No. 1)

実施日時	平成 29 年 11 月 13 日 (月)	
視察場所及び 部局等	北海道函館市	
視察事項	「地域交流まちづくりセンターの取り組み」について	
報 告 内 容	<p>(1) 視察先概要 地域交流まちづくりセンターは、対象 2 年創業の呉服店を再利用し、平成 19 年 4 月に生まれ変わった観光拠点施設です。 NPO 法人やボランティアなど市民活動の支援、市民の交流の場、地域情報の発信拠点になっている。</p> <p>(2) 視察事項について 5 月からは、「移住者サポートデスク」「移住者サポートセンター」を開設し、移住を検討している方への相談対応や定住した方へのサポートを行なっている。 施設の運営は、指定管理者 (NPO 法人) によって行なわれており、利用者は年間 12 万人を越えている。情報発信フロアー、事務ブース、多目的ホール、会議室、ギャラリーなどがあり、1 階にはカフェを設置し、会議室の利用は 1 時間単位で、イベントの準備はセンタースタッフが協力するようになっている。</p> <p>(3) 所感・市政に活かせること 函館市は人口が多いこともあると思うが、移住者のサポート・相談を行う施設として、NPO 法人に指定管理を託すことができる運営方法も考えられる。</p>	

(視察先の写真等がある場合は添付)

3 実施概要 (視察箇所ごとに記載)

(No. 2)

実施日時	平成 29 年 11 月 14 日 (火)
視察場所及び 部局等	北海道千歳市
視察事項	「千歳市防災学習センター」について
報 告 内 容	<p>(1) 視察先概要 災害を「学ぶ」「体験する」「備える」をキーワードに各種災害の擬似体験を通じて、防災に関する知識や災害が発生したときの行動を学ぶことができる施設</p> <p>(2) 視察事項について 地震体験・煙避難体験・避難器具体験など、災害を疑似体験するコーナーのほか、てんぷら油の発火やコンセントのトラッキングなどの現象を体験できる予防実験コーナー、防災に関する情報をタッチパネルのモニターで確認することができる防災情報検索コーナー、千歳市で起こる災害や災害の取り組みを紹介するパネル展示や、実際に手に取り確認することができる防災グッズの展示などが行われている。 災害学習コーナーなどの施設が常設されている。防災意識の高揚や自主防災組織のかつ活動拠点になっている。</p> <p>(3) 所感・市政に活かせること 市単独は無理だが、子どもたちに学習していただきたい施設であった。</p> <div data-bbox="659 1296 1283 1742" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">≪ 防災学習センター内 ≫</p>

3 実施概要 (視察箇所ごとに記載)

(No. 3)

実施日時	平成 29 年 11 月 14 日 (火)
視察場所及び 部局等	北海道小樽市
視察事項	小樽市ふれあい収集
報 告 内 容	<p>(1) 視察先概要 世帯員の病気、身体障がい、その他の理由により、家庭から搬出される家庭ごみを、搬出場所に排出されることができない世帯に対し、当該世帯から排出される家庭ごみを戸別に収集することにより、市民の福祉向上を図っている。</p> <p>(2) 視察事項について ふれあい収集を希望する世帯等から申し込みにより、担当者が対象世帯を訪問し、直接対象者本人と面談して、ふれあい収集が必要と判断された場合に週 1 回自宅を訪問して、安否確認を兼ねて呼びかけをし、家庭ごみを収集する。 事前に不在連絡がなく、呼びかけにも応じない場合は、緊急連絡先へ本人の所在確認並びにその確認結果報告を依頼している。</p> <p>(3) 所感・市政に活かせること 高齢化社会の進展により、単身高齢者が増加しており、さらに要介護者等も多く、孤独死が社会問題化している中で、日常生活に欠かすことのできないごみ収集と合わせてごみ収集をしているため、今後、東御市においても、そのニーズが見込まれ、行政サービスとしても考えて行く必要がある。</p>